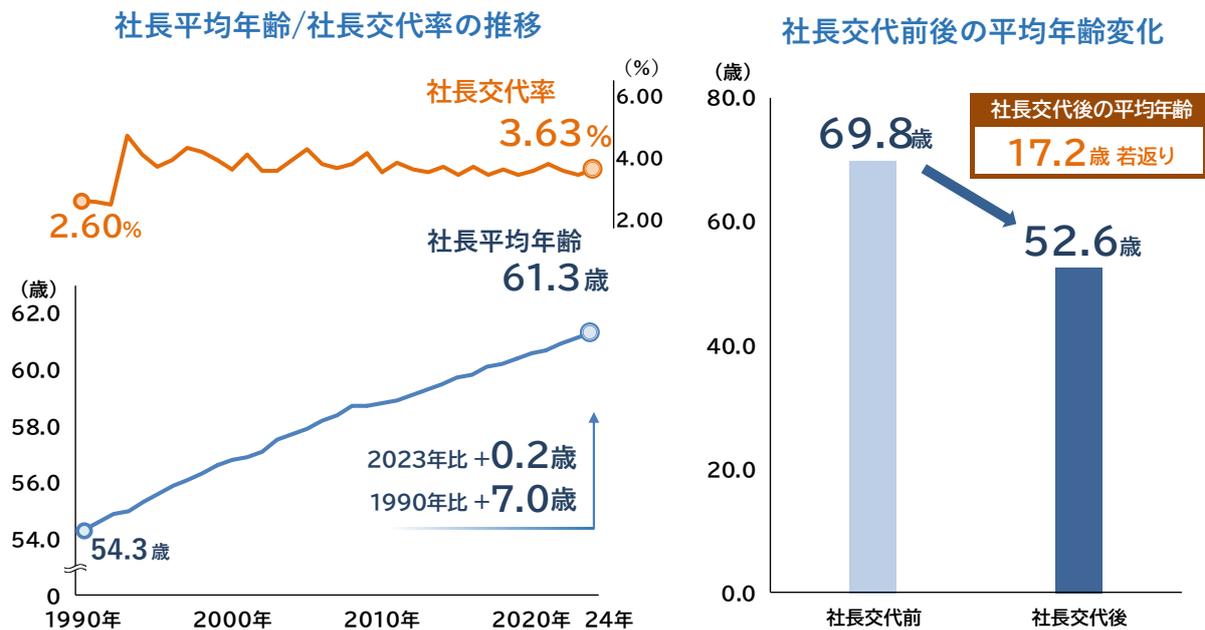


静岡県「社長年齢」分析調査（2024年）

社長の平均年齢は 61.3 歳

～ 34 年連続の上昇、高齢化止まらず ～

帝国データバンク静岡支店が実施した調査では、2024年における静岡県の後継者不在率は過去最低の50.3%となった。円滑な事業承継には中長期的な準備期間が必要であるが、足元では社長の高齢化には歯止めがかからない状態が続いており、事業承継中に発生した想定外の事態などで事業継続に影響を及ぼすケースもみられる。そこで2024年12月時点における社長年齢に関する調査を実施。全国調査分から静岡県内に本社を置く企業を集計・分析した。



調査結果（要旨）

- 2024年時点の社長の平均年齢は61.3歳。前年を0.2歳上回り、34年連続の上昇で過去最高を更新
社長が交代した割合は3.63%、前年から0.18ポイント上昇したが15年連続の3%台
- 「50歳以上」の社長は8割超、「40歳未満」の若手経営者は2.3%にとどまる
- 業種別では「不動産」が64.0歳で最も高い

■ 本調査では、企業概要ファイル「COSMOS2」（約148万社収録）から2024年12月時点における企業の社長データ（個人、非営利、公益法人等除く）を抽出し、集計・分析した

止まらぬ社長の高齢化、61.3歳と過去最高

社長平均年齢は、統計として遡れる1990年から毎年上昇し続けている。今回の調査でも同様の傾向となり、2024年は前年比0.2歳上昇の61.3歳となった。加えて、2024年における前年からの社長交代率は3.63%となった。15年連続で3%台が続いており、前回調査(3.45%)から0.18ポイント上昇した。

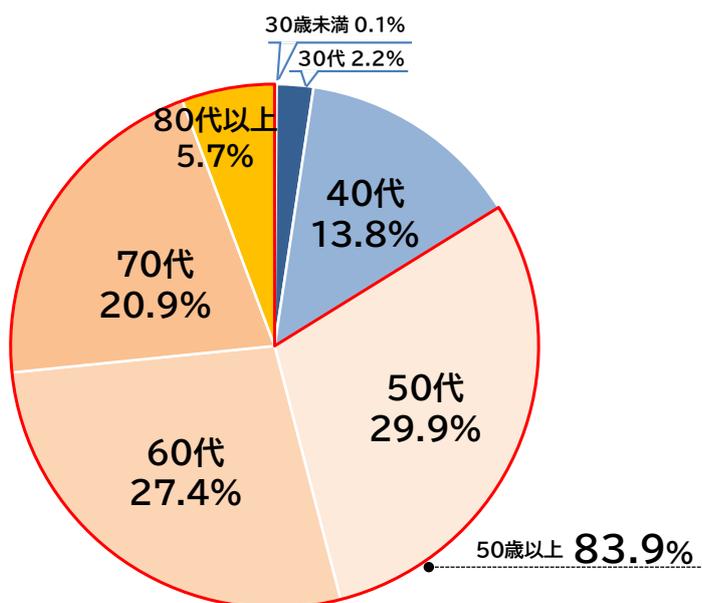
社長が交代する際の年齢は平均で69.8歳となり、前回調査(70.5歳)から0.7歳低下した。高齢ながら社長として経営を続けることにはリスクが伴うなかで、70歳近くで後継者にバトンタッチをしている結果となった。そして、社長交代後に就任する新社長の平均年齢は52.6歳となり、17.2歳の若返りがみられた。

<年代別構成比> 「50歳以上」の社長は83.9%と高水準

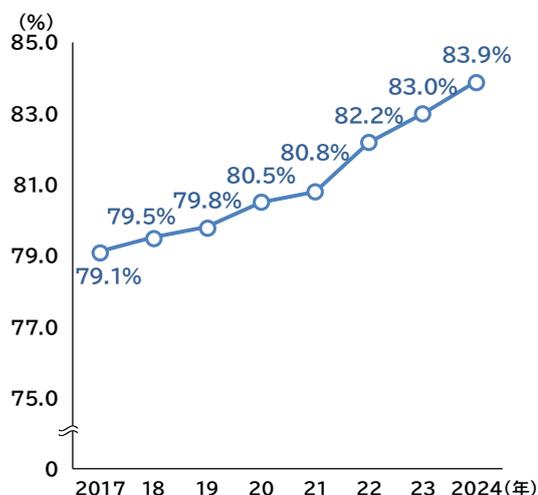
2024年時点における社長の年代別構成比をみると、「50歳以上」が83.9%となり全体の8割以上を占める結果となった。「50歳以上」の割合は毎年上昇しており、20年に初めて8割を超え、今回の調査でもさらに上昇した。

近年はスタートアップなど新興企業を中心に若手経営者に注目が集まっているものの、「40歳未満」は2.3%、なかでも「30歳未満」はわずか0.1%に過ぎず、若手社長の割合は依然として低い水準にとどまっている。

社長の年代別構成比



社長が50歳以上の割合 (各年推移)



＜業種別＞「不動産」が64.0歳と高水準

社長平均年齢を業種別で見ると、「不動産」が64.0歳で最も高かった。「小売」が61.9歳、「卸売」が61.8歳、「製造」が61.5歳で全体の平均年齢を上回った。

他方、その他を除くと「サービス」が60.5歳で最も低かった。

	業種別 社長平均年齢・年代別構成比							(歳)	
	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2024	対95年比	
全体	55.6	56.8	57.9	58.8	59.7	60.6	61.3	+5.7	
建設	54.3	55.9	57.1	57.7	58.7	59.9	60.7	+6.4	
製造	56.7	57.7	58.8	59.7	60.7	61.1	61.5	+4.8	
卸売	56.2	57.2	58.5	59.5	60.4	61.2	61.8	+5.6	
小売	55.0	56.4	57.9	59.1	60.2	61.3	61.9	+6.9	
運輸・通信	56.4	57.2	57.9	58.1	58.9	60.0	60.8	+4.4	
サービス	54.3	55.8	57.3	58.0	59.0	59.6	60.5	+6.2	
不動産	56.2	58.6	60.8	61.7	62.9	63.5	64.0	+7.8	
その他	56.6	57.8	57.6	58.5	58.4	59.4	59.8	+3.2	

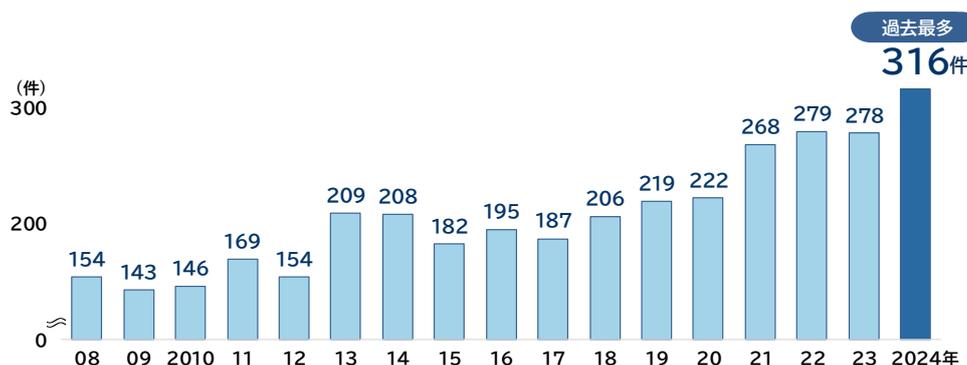
今後の見通し

静岡県における2024年の社長平均年齢は61.3歳で過去最高を更新した。1990年（平均54.3歳）と比較すると7.0歳上昇しており、高齢化に歯止めがかからない。2024年の社長交代では17.2歳の若返りがみられたものの、交代率は3.63%と低位にとどまっている。このまま社長交代率が低水準にとどまるなかで、今後も社長の平均年齢は上昇し続けるだろう。

2019年、中小企業庁は「2025年までに70歳を超える中小企業・小規模事業者の経営者は約245万人となり、うち約半数の127万人が後継者未定」との試算を発表しているが、鈍化する社長交代率を背景に平均年齢の上昇に歯止めがかからない。今後は事業承継が進まずに事業継続を断念せざるを得ないケースがさらに増加する可能性がある。

こうした結果の一つとして、「経営者の病気・死亡」による倒産が増加している。2024年には316件判明し、過去最多の件数を記録した。社長が高齢になれば「不測の事態」が生じる可能性は高まり、企業経営にも重大な影響を及ぼしかねない。社長の高齢リスクが高まるなか、十分な期間を設けた事業承継の実施に向けた周知な準備が求められる。

「経営者の病気・死亡」による倒産の件数（年推移）

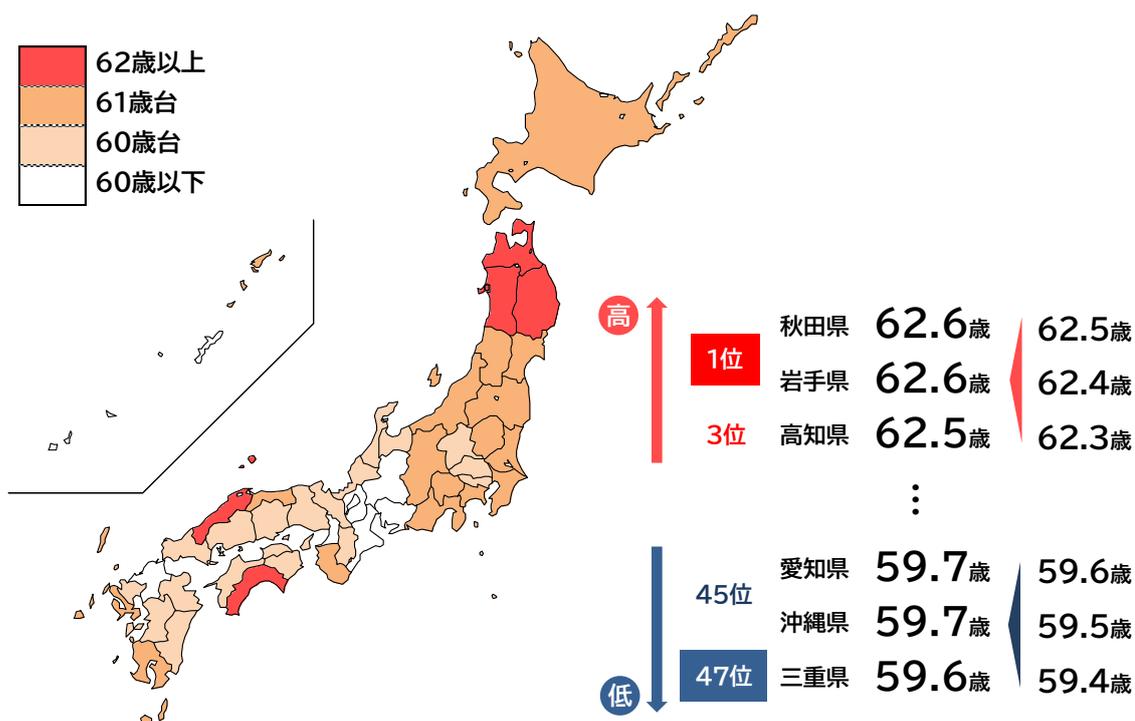


<参考：都道府県別> 秋田県と岩手県が62.6歳でトップ

都道府県別でみると、秋田県（2023年比+0.1歳）と岩手県（同+0.2歳）が62.6歳で最も高かった。岩手県は、5年ぶりのトップとなった。次いで、高知県（62.5歳、同+0.2歳）、青森県（62.3歳、同+0.1歳）が続いた。とりわけ、東北地方の6県がすべて全国平均（60.7歳）を上回り、社長の高齢化が顕著である。一方、最も低かったのは三重県の59.6歳（同+0.2歳）で、8年連続で最も低かった。その他、愛知県や沖縄県（いずれも59.7歳）など、60歳を下回ったのは7府県だった。総じて、都道府県別の社長平均年齢は「東高西低」の傾向が強い。なお、47都道府県の中かで社長平均年齢が前年から低下したのは、熊本県（60.1歳、同-0.1歳）と大分県（60.3歳、同-0.1歳）の2県のみだった。また、同横ばいは3県だった。

なお、静岡県は61.3歳（2023年比+0.2歳）で全国14位となり、前年（16位）から上昇した。

都道府県別 社長平均年齢



【問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク 静岡支店 担当：竹岸 隆浩

TEL:054-254-8301 FAX:054-254-6602

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。